

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業				財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	1	1	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目1 地球環境施策の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	池田市新環境基本計画の推進及び進行管理に係る調査や見直しを実施する。
めざす姿(目標)	令和12年度の「池田の環境目標像」の実現に向け、池田市新環境基本計画の推進及び進捗管理を行うとともに、必要に応じて改定を行う。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	・各主体との共同事業の実施、しくみ作り・計画の進捗にかかる調査(環境審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定、実施・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	1,046	1,130	1,139	☆成果の達成状況	温室効果ガス排出量	44万t/年(2015年度)	468万t/年(2016年度)	37.4万t/年	
主な内訳	消耗品費	19	15						20
	印刷製本費	308	300						300
	調査委託費	713	792						792
財源	国・府支出金				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由	C.判断できない 国発表の数値を用いて算定しているため、令和元年度の実績値が不明のため。	A.有効的である(改善の余地がない) B.改善の余地がある		
	地方債								
	その他()								
	うち受益者負担 B								
	一般財源 C	1,046	1,130	1,139					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>本事業で定められている計画の期間が令和2年度で終了となるため、令和3年度に池田市新環境基本計画の中間見直しを行う。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>目標達成に向けた施策の推進のためには、部局間を超えた連携が重要だが、目的や必要性について十分に理解や共有がされていないこと。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 本事業は、総合計画の「環境にやさしいまちづくり」の根幹をなすものである。平成27年度に実施した中間見直しや計画の進捗状況を踏まえ、連携すべき各部署、市民・事業者との協働体制の更なる確立を図るとともに、継続的な施策の実施が必要である。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業				財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	1	2	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目1 地球環境施策の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	ごみ減量や省エネルギー事業の普及啓発を行うとともに、環境にやさしい設備の設置・購入費用に対して補助・助成を行う。
めざす姿(目標)	低炭素型の社会・地域づくりを推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境学習・イベントの実施等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標 値 (活動・ 成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	11,176	8,046					
主な内訳	太陽光発電設備導入補助金	5,261	3,026	560				
	燃料電池システム設置費補助金	4,850	4,100	5,000				
	生ごみ処理機購入助成	304	302	600				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	太陽光発電出力は増加傾向にあるため。		
	地方債							
	その他(環境基金)	11,176	8,046	14,717	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	太陽光発電設備の設置件数は増加しており、指標達成に近づいているため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>低炭素社会の推進に資する技術は日々進歩しており、より効率的な目的達成に向けた手段については多様化している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>低炭素社会の実現に資する様々な技術に関する情報収集とその有効性や効率性の検証が難しいこと。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 現在の取り組みを着実に実施すること、社会情勢を踏まえた施策導入に関する検討を絶えず行うことで、低炭素社会の実現に向けた取り組みを着実に進めていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	環境学習推進事業				財務会計上の事業名	環境学習推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	1	3	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目1 地球環境施策の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	環境学習基本方針に基づき、行政・事業者・地域団体・市民とのネットワークで地域資源を活用した環境学習プログラムの開発や実践を支援する。
めざす姿(目標)	環境学習授業実施者のネットワークを強化するなど、提案できる環境関連の出前授業のメニュー数を増やし、実施希望者の需要に沿える環境を整える。
事業の対象(誰を、何を)	市内小・中学生、教員、保護者等
事業の手段・方法(どのように)	・学校、教員向けの環境学習事例冊子の作成及び配布 ・池田市環境学習研究会や環境学習啓発イベント等の実施
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市新環境基本計画 ・池田市環境学習基本方針

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	5,999	5,999	6,000	出前授業のメニュー数	25種類	26種類	30種類	
主な内訳	5,999	5,999	6,000					
環境学習推進委託料	5,999	5,999	6,000					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	環境学習事例の収集・整理・分析により、順調にノウハウが蓄積されており、教員等へのサポート体制の充実が図られているため。		
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	5,999	5,999	6,000	A.有効的である(改善の余地がない)				
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	A.効率的である(改善の余地がない)				
受益者負担率 B÷A				環境学習の普及に向けた情報収集や調査、環境学習啓発イベント等による環境学習支援は順調に進んでおり、環境学習基本方針に掲げる目標値の達成に近づいているため。				
☆上記「有効性・効率性」選択の理由					上記「有効性・効率性」選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>本事業の対象となる小学校における学習分野がこれまでよりも増えたことで環境学習を行う時間的な余裕が少なくなった。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>環境学習支援に向けた情報収集・調査・分析により、ノウハウの蓄積は一定進んだが、そのノウハウを学校や地域など実際の活動に十分に生かしてもらうことが難しい。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 本事業は、池田市新環境基本計画の達成に向けて基礎的な部分を担う事業であるが、すぐに効果が表れるものではないため、継続的な施策の実施が必要である。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業				財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	1	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	集団回収活動団体への奨励金や回収事業者への助成金による補助を行うとともに、不法投棄の防止啓発活動や不法投棄された処理困難物の処分を行う。
めざす姿(目標)	再生可能な有価物を集団回収している団体に対して、回収量に応じた補助を行うことにより、ごみの減量を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法(どのように)	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	3,901	3,858	7,698	☆成果の達成状況 A.順調に推移している	回収量	1,430t/年	1,331t/年	2,020t/年	
主な内訳	消耗品費	72	117		78	資源化率	11.5%	11.7%	20.2%
	計画策定委託料	0	0		3,000				
	補助金	3,828	3,734		4,500				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由 集団回収量は減少しているものの、団体数は横ばいとなっており、制度の趣旨に基づき各団体で回収量の確保に向け活動しているため。	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか A.有効的である(改善の余地がない) ☆事業は効率的に実施できているか A.効率的である(改善の余地がない) ・上記「有効性・効率性」選択の理由 集団回収量は減少しているものの、再資源化率上昇の有効な手段の一つとなっており、現制度の継続がごみ減量化の推進に効率的であると判断できるため。			
	地方債								
	その他(指定袋手数料)	3,901	3,858	7,698					
	うち受益者負担 B								
	一般財源 C								
一般財源比率 C÷A									
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 本事業の関連計画のひとつである池田市一般廃棄物処理基本計画が、令和2年度末にその計画期間(10年間)を満了することに伴い、当該年度のみ計画策定委託料が事業費に計上されている。	
目標達成に向けた課題 集団回収量の減少	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性 現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 ごみ減量・資源化のPRを促進し、集団回収団体数及び回収量の確保を図る。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	指定袋制実施事業				財務会計上の事業名	指定袋制実施事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	2	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	指定ごみ袋・シールを作成し、市役所や指定販売店において配布する。
めざす姿(目標)	指定袋制及びシール制を実施することにより、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進し、家庭系ごみの減量を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	89,571	81,479	107,511	ごみ排出量	30,484t/年	30,683t/年	26,617t/年	
主な内訳	消耗品費	61,888	52,828					62,468
	配布管理委託料	13,363	13,764					15,228
	指定袋取扱委託料	13,224	13,712					13,654
☆成果の達成状況					B.順調に推移していない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	市内の家庭ごみ排出量が横ばいであるため。		
	地方債							
	その他(指定袋手数料)	89,571	81,479	107,511	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	平成18年度の制度開始以降大幅にごみ排出量が減少し、平成24年度の制度改定以降も減少傾向にあったものの、近年は横ばいとなっているため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした本市独自施策の一環として、家庭ごみ用指定ごみ袋の臨時配布を実施するため、令和2年5月臨時会における専決処分により令和2年度予算については総額19,790千円の補正が行われている。</p> <p>【補正額の主な内訳】</p> <p>消耗品費 5,720千円 通信運搬費 10,550千円 電算委託料 1,980千円</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
指定袋等を使用しない不適正排出	<p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 平成18年度の指定袋制実施、平成24年度の全量有料化により、ごみ排出量の削減効果が見られるが、更なるごみの減量及びリサイクル率の上昇を目指すため、分別項目の増加等を検討していく。また、ごみ収集日程表や市広報誌、ホームページなどで正しいごみ分別の啓発を行っていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	3R推進センター管理運営事業				財務会計上の事業名	3R推進センター管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	3	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系(誰を、何を)	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	3R推進センターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、効果的なイベントなどを開催し、施設の認知度の向上や、地球温暖化防止・資源循環など、環境に関する効果的な普及啓発につなげる。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	・環境についての講座やイベントの実施 ・リユースショップ事業の運営 ・リサイクル資源の回収事業 ・環境活動についての啓発や発信 など
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	1,392	1,547	762	
主な内訳	修繕費	0	1,075	20
	指定管理料	729	776	742
	建物借上料	574	574	-
	国・府支出金			
地方債				
その他(環境基金繰入金)	1,392	1,547	762	
うち受益者負担 B				
一般財源 C				
一般財源比率 C÷A				
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
利用者数	39,214人/年	43,990人/年	49,000人/年
WEBサイトアクセス数	1,000回/年	2,983回/年	3,000回/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	利用者数・WEBサイトアクセス数ともに増加し一定の認知度が得られているため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	市民の方が3Rに取り組める仕組みづくりやイベント・講座を行い、利用者数・WEBサイトアクセス数ともに増加し、目標の達成に近づいているため。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和2年度より中央公民館へ移転し、一部事業の見直しや新規事業を行う。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>令和2年度の移転に伴い、事業の見直しを行うことで、市民の方に対して新たな事業について認知度を高める必要があること。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 本事業は、池田市新環境基本計画の達成に向けて基礎的な部分を担う事業であり、移転後も継続的な施策の実施が必要である。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	リサイクル推進事業				財務会計上の事業名	リサイクル推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	4	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	家電リサイクル法及び容器包装リサイクル法による再商品化の推進や、小型家電・水銀含有廃棄物の回収を実施する。
めざす姿(目標)	各リサイクル法による再商品化の推進を行い、再資源化率を上昇させる。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	不法投棄された特定家電4品目の処理や容器包装リサイクル対象品目の再商品化等
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	7,914	8,322	9,321	資源化率	11.5%	11.7%	20.2%	
主な内訳	消耗品費	149	90					112
	手数料	34	51					189
	処分委託料	7,732	8,183					9,000
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	平成29年度より小型家電類及び水銀含有廃棄物の拠点回収も開始しており、今後更なる再資源化率の上昇が見込まれるため。		
	地方債							
	その他(指定袋手数料等)	7,914	8,322	9,321	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	再資源化率が上昇しているため。		
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和2年7月1日から国によりレジ袋が原則有料義務化されている。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
再資源化率の更なる上昇	<p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 財政状況等を踏まえながら、家庭ごみのうち現時点では燃えるごみとして排出されている容器包装プラスチック類をトレイ類に加えることにより、再資源化率の更なる上昇を見込むため。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業				財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	5	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	ごみの減量・再資源化の一環で池田市レジ袋削減等3R推進協議会を中心に、マイバッグ推進の啓発活動などの事業を実施する。
めざす姿(目標)	レジ袋削減の啓発イベントを実施することにより、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法(どのように)	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	100	100	0	ごみ排出量	30,484t/年	30,683t/年	26,617t/年	
主な内訳	補助金	100	100					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			<ul style="list-style-type: none"> 上記「達成状況」選択の理由 	各イベントでPR活動を行うとともに、小学校の出前授業にも参加した。			
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	100	100	0	<ul style="list-style-type: none"> ☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか 	A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%		<ul style="list-style-type: none"> 上記「有効性・効率性」選択の理由 	協議会には商店主や婦人会などが加盟しており、多種多様な意見をくみ取ることができている。			
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 令和2年7月1日から国によりレジ袋が原則有料義務化されている。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性 廃止 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和元年度をもって池田市レジ袋等削減3R推進協議会が解散したことに伴い、本事業を廃止する。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業				財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	6	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内に無人・無施設の本棚で本を24時間無料で貸し出すまち角図書館を運営するため、池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会に対して、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	古本回収量の増加により、多種多様な本を設置し、利用者の満足度向上を図るとともに、リサイクルにつなげる。
事業の対象(誰を、何を)	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会
事業の手段・方法(どのように)	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施。池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会への補助金の交付。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	200	100	100	指標の内容 古本回収冊数 7,793冊/年 5,090冊/年 8,200冊/年
主な内訳	補助金	200	100	
財源	国・府支出金			☆成果の達成状況 A.順調に推移している ・上記「達成状況」選択の理由 5,000冊を超える古本が市民の善意により寄贈されている。 ☆目標達成のための有効な事業内容となっているか A.有効的である(改善の余地がない) ☆事業は効率的に実施できているか A.効率的である(改善の余地がない) ・上記「有効性・効率性」選択の理由 市民の善意をベースとした運営により、長期的かつ経済的に事業継続ができており、広く市民に定着し利用されている。また、循環型社会構築に大きく寄与できる本市独自の施策であるため。
	地方債			
	その他()			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	200	100	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 令和元年7月から本事業の所管が環境政策課から図書館に変更となったことにより、本事業の目的の中で「本のリユース・リサイクル」よりも「市民への本の提供」という文化的な側面が強まった。	
目標達成に向けた課題 施設の老朽化及び人員の不足	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性 現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会を支援し、施設の計画的な修繕に努める。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	環境基金積立事業				財務会計上の事業名	環境基金積立事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	7	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	環境基金の積立を行う。
めざす姿(目標)	積み立てた基金を適切に管理し、各種環境施策(低炭素社会推進事業、3R推進センター管理運営事業など)を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	指定袋手数料の一部等
事業の手段・方法(どのように)	環境基金として積み立て、適切に管理し各種環境施策の財源として活用する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	32,142	33,617	30,000	積立額	積立額	32,142千円	33,617千円	30,000千円		
主な内訳										
積立金	32,142	33,617	30,000							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか	上記「達成状況」選択の理由 A.順調に積み立てられているため。					
	地方債									
	その他(環境基金利息等)	4,129	3,681						100	A.有効的である(改善の余地がない)
	うち受益者負担 B									A.効率的である(改善の余地がない)
	一般財源 C	28,013	29,936						29,900	順調に積み立てられており、適正管理及び有効活用できているため。
一般財源比率 C÷A	87.2%	89.1%	99.7%	上記「有効性・効率性」選択の理由						
受益者負担率 B÷A										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 特になし。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 環境基金を財源とする各種環境施策の状況を注視しながら、引き続き当該基金を積み立てるとともに、適正管理及び有効活用していく。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	ごみ収集事業				財務会計上の事業名	ごみ収集事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	8	担当部署名	業務センター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	ごみの分別収集及び指定日収集を実施する。
めざす姿(目標)	ごみ収集業務の効率化により、市民サービスの向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市内の全戸家庭
事業の手段・方法(どのように)	塵芥車によるごみ収集運搬業務
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	97,939	112,927	136,468	収集率 収集量	100% 18,897 t	100%	100%	100%	
主な内訳	燃料費	5,710	5,452						6,212
	修繕料	10,044	8,212						8,243
	ごみ収集業務委託料	80,987	97,675						120,378
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	直営および委託でごみ収集業務の収集率は、成果として達成している。			
	地方債								
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	一般財源 C	97,939	112,927	136,468	・上記「有効性・効率性」選択の理由	現在の職員数と業務量は有効的である。今後、職員の減少に伴い委託を増加するなど改善の余地はある。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>今後、職員の退職に伴う人数見合いによっては、委託の増加等を視野に入れた検討が必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>直営を維持するには新規採用の費用が不可欠。災害時のリスクマネジメントを考えると現在の形を継続するのが望ましい。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 定年延長が無ければ、令和6年の退職者が6名対象になる見込み。そのタイミングで委託拡充を視野に入れ検討していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	し尿収集事業				財務会計上の事業名	し尿収集事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	9	担当部署名	業務センター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	し尿の定期収集と臨時収集及び浄化槽の清掃と保守点検を実施する。
めざす姿(目標)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市内一部の家庭及び事業所並びに臨時的仮設トイレ
事業の手段・方法(どのように)	衛生車によるし尿収集運搬業務
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	716	695	1,066	
主な内訳	燃料費	259	245	300
	修繕料	358	303	495
	消耗品費	29	33	142
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他()			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	716	695	1,066
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
収集率	100%	100%	100%
収集件数	429件	401件	350件
収集量	545 k ℓ	407 k ℓ	300 k ℓ
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	直営で行っている上、尿収集業務の収集率は、十分な成果が表れている。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	過去にし尿収集業務を委託した経緯があるものの、継続困難との理由で直営で行うようになった経緯がある。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>市の地形の中で海拔が高い場所に一部住宅が建設されているところや五月山にあるゴルフ場や公園、さらには下水道の通っていない場所や農地など、し尿収集は今後も引き続き実施。 また、イベントやマンション建設などに設置される仮設トイレのし尿収集も無くなることは無いもの。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後は下水道の整備を含め減少傾向になると思うが、無くなるのが無いので老朽化した衛生車両の更新や職員の人員配置は必要不可欠。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 山間部や農地など下水道の整備ができない場所並びに臨時的に収集が必要な場所については、引き続き事業継続が必要。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	ごみ処理事業				財務会計上の事業名	ごみ処理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	10	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系(誰を、何を)	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	環境基準などを遵守した上で、廃棄物を適正に処理する。
めざす姿(目標)	廃棄物の適正処理を維持する。
事業の対象(誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	再資源化の徹底とともに一般廃棄物の適正な中間処理(焼却処理)を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)	
	事業費(千円) A	122,049	123,572						261,496
主な内訳	消耗品費	47,790	53,418	57,000	規制違反件数	0日/年	0日/年	0日/年	
	燃料費	4,569	6,572	6,500					
	光熱水費	59,417	56,831	61,022					
				☆成果の達成状況	A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	廃棄物の適正処理が確実に行われたため。			
	地方債								
	その他(ごみ処理手数料他)	95,673	123,572	114,129		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B	95,673	123,572	114,129		☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
	一般財源 C	26,376		147,367		・上記「有効性・効率性」選択の理由	一般廃棄物処理基本計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の分別促進をすることで、適正処理にかかる費用を抑えることが可能と考えるため。		
一般財源比率 C÷A	21.6%		56.4%						
受益者負担率 B÷A	78.4%	100.0%	43.6%						

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>焼却施設における休日・夜間の運転管理業務等について、令和2年度から民間へのアウトソーシングを行い、一般廃棄物処理施設として安定的に操業しながら、費用対効果の向上を図っている。また、資源ごみ等の分別促進により、最終処分量の削減及び廃棄物の適正処理につなげることが必要と認識している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>引き続き、廃棄物の適正処理の着実な実施に努める。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も環境基準などを遵守した上で、費用対効果を考慮しつつ、廃棄物の適正処理を維持する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	ごみ処理事業（最終処分）				財務会計上の事業名	ごみ処理事業
第3期実施計画の区分章/節（施策）/項目/事業番号	3	4	2	11	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節（施策）	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間（第3期実施計画期間）	令和元年度～令和4年度
事業内容	再資源化を徹底するとともに、資源化できないものについては、適正処理を行う。
めざす姿（目標）	再資源化の促進及び最終処分量の抑制により、循環型社会の形成を推進する。
事業の対象（誰を、何を）	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法（どのように）	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理及び一般廃棄物の最終処分を、業務委託により実施。
実施形態（直営/委託）	全部委託
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 （活動・成果）
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	133,028	132,676	148,114	規制違反件数
主な内訳				
処分委託料	133,028	132,676	148,114	
財源				☆成果の達成状況
国・府支出金				
地方債				
その他(ごみ処理手数料)		4,682		
うち受益者負担 B		4,682		
一般財源 C	133,028	127,994	148,114	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか
一般財源比率 C÷A	100.0%	96.5%	100.0%	
受益者負担率 B÷A		3.5%		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
規制違反件数	0日/年	0日/年	0日/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	廃棄物の適正処理が確実に行われたため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である（改善の余地がない）		
☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	ごみ減量及び資源ごみの分別促進により、ごみの最終処分量が減り、処分委託料を減少させることが可能。また、ごみの総量が減ることで、廃棄物の適正処理にかかる費用を抑えることも可能と考えるため。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化（社会情勢・ステークホルダー・要望等）</p> <p>資源ごみ等の分別促進により、最終処分量の削減及び廃棄物の適正処理につなげることが必要と認識している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>鉛等の基準超過でフェニックス最終処分場への受入停止措置が適用されないよう、原因となる乾電池や蛍光灯などを分別・リサイクルすることで、再資源化と適正処理を両立させることが必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後（令和3年度以降）の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 資源化率の向上と経費削減に努めるとともに、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量を削減しながら、適切に最終処分を実施する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	クリーンセンター管理運営事業				財務会計上の事業名	クリーンセンター管理事業 クリーンセンター運営事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	12	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	クリーンセンターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	クリーンセンターの適切な管理運営により、廃棄物の継続的かつ適正な処理を行う。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の保守点検等を適切に行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	
	事業費(千円) A	33,112	31,540	32,089
主な内訳	設備保守点検委託料	25,101	26,285	26,436
	光熱水費	1,776	1,651	2,100
	下水道使用料	815	762	827
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他(自動販売機等電気使用料他)	103	103	106
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	33,009	31,437	31,983
一般財源比率 C÷A	99.7%	99.7%	99.7%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
(活動・成果)	廃棄物受入停止日数	0日/年	0日/年	0日/年
☆成果の達成状況		A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由		廃棄物の受入停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか		A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由		設備保守点検に係る各種業務を着実に実施することで、環境基準等を遵守した上で、廃棄物の適正処理が継続的に行われているため。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和2年度から焼却施設の休日・夜間の委託が開始された。平日日勤帯に業務が集約される部分が出てくるが、これまでに培った技能をさらに高めるとともに、ノウハウの継承にも努める。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>人員減及び施設の老朽化により、廃棄物の受入停止などの事態を生じさせることがないよう、施設状況の適切な把握と効率的な施設の管理運営が課題である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和2年度から焼却施設の休日・夜間の委託が開始された。平日日勤帯に業務が集約されるが、これまでに培った技能をさらに高めるとともに、ノウハウの継承にも努める。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業				財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	13	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	クリーンセンターの予防保全など適切な修繕を行う。
めざす姿(目標)	クリーンセンターの適切な修繕により、廃棄物の継続かつ適正な処理を行う。
事業の対象(誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法(どのように)	施設の予防保全等適切な維持管理を行う。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	15,556	49,801	60,000	指標値 (活動・成果)	廃棄物受入停止日数	0日/年	0日/年	0日/年				
主な内訳	修繕料	15,556	49,801									
☆成果の達成状況					A.順調に推移している							
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	上記「達成状況」選択の理由 A.有効的である(改善の余地がない) B.改善の余地がある						
	地方債											
	その他()											
	うち受益者負担 B											
一般財源 C	15,556	49,801	60,000	上記「有効性・効率性」選択の理由 基幹的設備改良工事の実施と相まって、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することが必要と考えるため。								
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%									
受益者負担率 B÷A												

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和元年度までの4年にわたる基幹的設備改良工事で、焼却炉については長寿命化が図られた。しかしながら、それ以外の設備の老朽化については、今後も修繕を行いながら安定稼働を目指す必要があると認識している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>施設の予防保全と計画的な修繕工事により、費用対効果と施設の安定稼働を両立させるよう努めているが、経年による修繕必要箇所の増加により、施設の安定稼働を維持するための費用増大が課題。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>縮小</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 平成28年度から令和元年度までの基幹的設備改良工事の間中は、現行炉の修繕に限るため、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとしてきた。 基幹的設備改良工事の完了後は、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	クリーンセンター基幹改良事業				財務会計上の事業名	クリーンセンター基幹改良事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	14	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	基幹的設備改良工事を実施し、施設の長寿命化を図る。
めざす姿(目標)	クリーンセンターの中・長期的な安定稼働を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法(どのように)	二酸化炭素排出抑制事業費交付金を活用し、基幹的設備改良工事を実施し、施設の長寿命化を図る。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市一般廃棄物処理基本計画 ・池田市循環型社会形成推進地域計画 ・池田市地域一般廃棄物処理施設長寿命化総合計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	1,471,546	1,705,154	—	基幹改良工事	2炉完了	3炉完了	3炉完了	
主な内訳	監理委託料	10,476	12,132					
	工事請負費	1,461,070	1,693,022					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	632,408	674,980	上記「達成状況」選択の理由	令和元年度で4か年にわたる基幹的設備改良事業が完了し、焼却炉3炉の改修が完了したため。			
	地方債	724,100	873,700					
	その他()			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B			☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
	一般財源 C	115,038	156,474	上記「有効性・効率性」選択の理由	LCC(ライフサイクルコスト)の面での有利さや新施設整備時における予定地の確保及び住民合意の形成の困難さから、令和16年度までの既存施設の延命化を図り、本年度で事業を完了できたため。			
一般財源比率 C÷A	7.8%	9.2%						
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
上記のとおり。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和元年度で事業が完了したため。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業				財務会計上の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	15	担当部署名	クリーンセンター
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	廃棄物の最終処分場を確保するため、大阪湾圏域広域処理場整備事業に参画する。
めざす姿(目標)	最終処分場を確保し、廃棄物の適正処理を維持する。
事業の対象(誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	一般廃棄物の最終処分を大阪湾広域廃棄物埋立処分場に委託しており、その建設に要する経費の内、池田市分を負担する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 池田市一般廃棄物処理基本計画 大阪湾圏域広域処理場整備事業計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	1,332	5,476	11,154	広域処分委託量枠の確保	66,626㎡	75,358㎡	101,554㎡	
主な内訳	廃棄物埋立処分場整備委託料	1,332	5,476					11,154
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	平成30年3月の大阪湾圏域広域廃棄物処理場整備基本計画に基づき、43,662㎡分の本市枠が増量され、初年度として8,732㎡が確保できたため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C	1,332	5,476	11,154	・上記「有効性・効率性」選択の理由	焼却灰、ばいじん、不燃物の最終処分場であるフェニックス最終処分場の本市枠の確保は、安定的で適法にごみ処理を行う唯一の方法であるため。		
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
4つの埋立処分場全体の埋立進捗率が約8割に達する状況で、新たな埋立処分場の確保が急務となっている。検討されている大阪湾フェニックス第3期事業への費用負担が今後必要と認識している。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 平成30年3月付け大阪湾圏域広域廃棄物処理場整備基本計画に基づき、5年で43,662㎡分の本市枠が増量され、令和5年まで安定的に本市枠の取得を行う。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	業務センター管理運営事業				財務会計上の事業名	業務センター管理事業 業務センター運営事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	2	16	担当部署名	業務センター
総合計画の体系 (誰を、何を)	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目2循環型社会の形成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	業務センターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	業務センターの適切な管理運営により、ごみ収集業務の継続的かつ適正な処理を行う。
事業の対象 (誰を、何を)	業務センターの健全な管理運営を行い職員の安全衛生を確保する。
事業の手段・方法 (どのように)	収集運搬業務に係る衛生面の確保
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	老朽化した部分については、計画的に修繕や改修工事に努める。

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標 値 (活動・ 成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	5,221	5,459					
主な内訳	委託料	1,230	1,290	1,336	改修工事件数	2件	2件	2件
	修繕料	390	393	2,250				
	光熱水費	1,810	1,728	1,980				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	安全衛生面においても順調に達成している。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C	5,221	5,459	8,435	・上記「有効性・効率性」選択の理由	今後も継続する事業のために必要な維持管理は計画的に行い建物の健全化を図る。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>業務センターの事業がある限り現状維持と新規改修事業は必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>大規模改修に向けての予算確保。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>(《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》)</p> <p>令和3～4年度に大規模改修(屋上防水・外壁塗装)の予算要求を行い健全な管理運営を目指す。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	環境監視対策事業				財務会計上の事業名	環境監視対策事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	3	1	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目3地域環境の向上				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内の騒音などの測定を定期的実施するとともに、工場などへの規制・指導を行う。また、公害苦情を処理する。
めざす姿(目標)	市内の汚染状況を的確に把握し、公害の発生を抑制する。
事業の対象(誰を、何を)	工場、事業場
事業の手段・方法(どのように)	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業場や工事現場に対して立入検査を行い、規制基準の遵守の確認・指導を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	2,458	2,348	3,585		
主な内訳	調査委託料	2,171	2,269	3,200	
	消耗品費	59	57	59	
	燃料費	43	16	55	
財源	国・府支出金	692	694	600	☆成果の達成状況
	地方債				
	その他()				A.順調に推移している
	うち受益者負担 B				
	一般財源 C	1,766	1,654	2,985	
一般財源比率 C÷A	71.8%	70.4%	83.3%	・上記「達成状況」選択の理由 根拠法令に基づき適正に対処したため。	
受益者負担率 B÷A					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
苦情処理率	100%	100%	100%
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	環境監視のため、水質と騒音の測定は不可欠である。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理し、苦情者の了承を得られている。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>工場、事業場による公害苦情相談だけでなく、工事現場からの騒音苦情や、規制対象外である住生活に関わる騒音、悪臭などの苦情が増加傾向にあり、苦情内容が多様化している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>昨年に引き続き、公害発生の抑制と環境基準の達成</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 環境測定や立入検査により環境監視に努めるとともに、公害苦情について迅速に、適切に対処していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業				財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	3	2	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目3地域環境の向上				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和2年度
事業内容	神田大気観測局において、微小粒子状物質、浮遊粒子状物質及び二酸化窒素など大気汚染物質の常時監視を実施し、大気汚染状況を把握する。
めざす姿(目標)	阪神高速道路周辺の大気汚染を的確に把握する。
事業の対象(誰を、何を)	阪神高速道路大気観測局(神田局)
事業の手段・方法(どのように)	阪神高速道路大気観測局(神田局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	3,698	3,728	4,450	環境基準達成率
主な内訳	管理委託料	3,456	3,488	3,685
	光熱水費	212	202	228
	消耗品費	65	38	37
	その他(阪高気観測局基金)	3,698	3,728	4,450
うち受益者負担 B				
一般財源 C				
一般財源比率 C÷A				
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値(活動・成果)	環境基準達成率	100%	100%	100%
☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
・上記「達成状況」選択の理由	定点観測によりPM2.5など、市内の大気汚染の状況を把握できているため。			
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
・上記「有効性・効率性」選択の理由	市民の関心の高いPM2.5を中心とした1時間ごとの測定値を市ホームページなどで即時(リアルタイム)公開できている。			

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
大気汚染は気象状況や工場の生産状況により大きく悪化する可能性があることから、今後も定点観測を継続し、市民にリアルタイムデータを提供することにより安全・安心なまちを実現する。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
施設、計測機器の維持管理に留意すること。令和3年度末で財源である基金が底をつく見込み。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 財源である基金を効率的に運用してきたため、定点監視を継続するが、令和4年度以降の財源を見直す必要がある。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	環境美化推進事業				財務会計上の事業名	環境美化推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	3	3	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目3地域環境の向上				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	まちの環境美化を推進する運動を各種団体と協働する。
めざす姿(目標)	各種団体の参加人数を増やし、環境美化に関するマナーの向上を図ることで、環境美化を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	清掃デー 9月の環境衛生週間に住民意識の啓発のため実施
事業の手段・方法(どのように)	各自治会・子供会に呼びかけ地域清掃
実施形態(直営/委託)	
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	20	590	590	参加者数		4,306人/年	4,386人/年	5,100人/年
主な内訳	喫煙所修繕	0	500					
	郵便料	20	25					
	ほそごう自然を守る事業管理委託料		570					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	天候や実施時期により増減はあるものの、一定数の市民が活動し、増加している。			
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	20	590	590	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由	地域清掃については、多くの団体・市民が参加されており、環境美化意識の向上に効果的である。			
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>環境美化に対する市民意識の向上を図るため、継続的に啓発等を実施する。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>市で処理できない多種多様なごみも排出されることがあり、回収に苦慮する場合がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を主体とした環境美化活動を、自治会等の各種団体との連携</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	屋外広告物撤去事業				財務会計上の事業名	屋外広告物撤去事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	4	3	4	担当部署名	環境政策課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第4節環境にやさしいまちづくり				
	項目	項目3地域環境の向上				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内団体と協働し、不法簡易屋外広告物の除去活動を実施する。
めざす姿(目標)	まちの美化に関するマナーの向上を図り、除去すべき不法簡易屋外広告物の数を減少させることで、まちの美観・風致の維持を図る。
事業の対象(誰を、何を)	違法看板や貼紙の撤去
事業の手段・方法(どのように)	池田市不法簡易広告物除去活動員制度に基づき各団体単位で撤去活動を行う。
実施形態(直営/委託)	
関連計画	・池田市新環境基本計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	200	200	200	不法簡易広告物	41個/年	41個/年	41個/年	30個/年	
主な内訳	需用費	135	150						174
	保険料	22	20						26
	(賃金)	43	30						
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金	200	200	200	・上記「達成状況」選択の理由	団体が撤去に回ること自体が抑制となっているため、この程度の数で収まっていると考える。			
	地方債								
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	一般財源 C	0	0		・上記「有効性・効率性」選択の理由	団体により活動差がある。			
一般財源比率 C÷A									
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
平成16年7月に大阪府屋外広告物条例第26条第2項の規定により、府条例に違反し本市が処理することとされている広告物について、住民団体へ委任するために必要な事項を定めているもの。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
活動委員の高齢化	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 住民団体と連携して継続していく。